

各位

時下益々ご清栄のことと存じます。
日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

～～今回お知らせする情報～～

- 平成28年産水稻の収穫量（近畿）
- 「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」に係る説明会の開催について
- 米に関するマンスリーレポート（平成28年12月号）の公表について

[illegible]

- 平成28年産水稻の収穫量（近畿）

平成28年産水稻の収穫量について、以下のとおり近畿及び京都府府の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

【近畿】

10a 当たり収量は516kg（前年産に比べ8kg増加）

収穫量（主食用）は51万9,000 t（前年産に比べ1,300 t 増加）

【京都府】

10 a 当たり収量は516kg（前年産に比べ6kg増加）

収穫量（主食用）は7万3,800 t（前年産に比べ400 t 増加）

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/press/toukei/seiryu/161202.html>

※ 全国ベースの公表データは、以下のリンク先でご覧いただけます。

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y

【お問い合わせ先】

近畿農政局 統計部生産流通消費統計課

担当者：丸山、児島

T E L：075-414-9650

○「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」に係る説明会の開催について

消費者庁及び農林水産省の共同で開催していた「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会」において、平成28年11月29日に「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」が取りまとめられ、その説明会を次のとおり開催しますので、参加を御希望の皆様におかれましては、申込方法に従ってお申し込みください。

【大阪会場】

日時：平成29年1月11日（水曜日）	1 回目	10時00分～
	2 回目	14時00分～

場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館 2階 共用大会議室

所在地：大阪府中央区大手前1-5-44

(<http://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/org/sosiki1.html>)

参加可能人数：各回 200名程度

申込登録フォームからお申込みください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/syouan/hyoji/0111_oosaka.html

申込期限：平成29年1月5日 木曜日18時00分

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/hyouzi/161202.html>

※ なお、平成28年11月29日付けで公表された「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」は、以下のリンク先でご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/161129.html>

【説明会に関するお問い合わせ先】

農林水産省 消費・安全局消費者行政・食育課

担当者：大久保、京増、坂口、米屋

T E L：03-6744-2099

○ 米に関するマンスリーレポート（平成28年12月号）の公表について

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としており、今般、平成28年12月号について取りまとめました。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/161206.html

【お問合せ先】

農林水産省 政策統括官付農産企画課

TEL : 03-6738-8973

[illegible]

農林水産省近畿農政局地方参事官室（京都府担当）
地方参事官ホットライン

電話：075-414-9015

メールアドレス : sanjikan_kyoto@kinki.maff.go.jp

[illegible]

§ 農林水産省ビジョンステートメント §

私たち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。

[illegible]